

スマートな暮らし方には必要な住宅設備について詳しく聞いていきます。

Q 蓄電池とEVどっちを先に取り入れるべきでしょうか。

A 今後の暮らし方において、電気を「創って」「蓄えて」「使う」という家のエネルギーシステムは不可欠です。家で「創った」電気を蓄電池やEVに蓄え、夜に活用すれば電力会社の電気を買う必要はほとんどありません。

そしてEVが先か蓄電池が先かという議論は、家づくりにおいて今後さらに盛り上がっていく話題です。結論両方ともスマートな暮らし方には必要な住宅設備であり、両方あればベストです。

蓄電池は固定式でいつも家にある電源です。EVは移動式蓄電池です。一番重要なのは高騰する電気料金を先々まで見据えた選択です。

蓄電池の選び方として、「蓄えた」電気をいつ何kWh使いたいかを決めないと設置容量が曖昧になります。戸建てで4人家族であれば夜間だけで実質容量8kWh以上消費します。5kWh蓄電池では足りない電気は電力会社から買うしかありません。そこにEVがあれば足りない分はEVから給電できます。

移動式蓄電池EVの強みは1回で使える電気量「最大出力量」と「充電容量」の大きさです。蓄電池の場合、「最大出力」平均最大出力3kWで、IHコンロ2口同時に調

賢い暮らしに重要な設備は蓄電池?EV?

理をすると他の家電製品が仕えなくなりますが、EVは最大出力6kWでIH調理をしながら電子レンジやエアコン、ドライヤーも同時に使えます。

「充電容量」は、蓄電池は大容量でも12kWh程ですが、EVの場合、日産サクラで20kWh、リーフで60kWhで、それだけで大きな蓄電池があるのと同じです。今後EVは1台から2台所有する時代です。そうなってきましたと1台は家庭用蓄電池としても上手く利用できます。

次に重要なのは、蓄電池やEVへの充給電を一体だれがするのかです。私は「AIクラウドHEMS」によって、その制御を自動で行っています。

太陽光発電で創った電気はまず蓄えます。そして蓄えた電気を何時にどの設備に、何kWh給電するという日々の暮らし方と天候を考慮して制御しないと難しくなります。

今後、「DR」・「VPP」という蓄えた電気を容量市場に供給できるスマートハウスが主流になります。どちらも大切な設備です。



イススイーイー
加藤善一社長

独自の技術によるスマートハウス「Smart2030零和の家®」を全国の工務店に波及する。2021年絆ジャパンとの提携により参画企業も150社を超える。新築のみならず既存住宅のスマートハウス化を訴求している。